

研究概要

カルシウムイオンは多様な生命現象に関与するセカンドメッセンジャーであり、興奮収縮連関機構を介して心臓の収縮・弛緩を制御すると共に、心肥大や細胞死等の生命現象においても重要な役割を担っている。心不全はあらゆる心疾患の終末像であり、その病態形成にカルシウムイオンが重要な役割を果たしていると考えられるがその詳細は不明な点が多い。我々はカルシウムイオンを標的とした新規の治療法の開発に向けて、細胞死機構の解析と制御の観点から研究を進めている。